

平成17年12月 検定試験

【No.31】 D ジェトロニック方式のエンジンにおいて、「暖機後、無負荷運転状態でもアイドル回転速度が高い。」という現象が発生している自動車について、故障探求を外部診断器を使用して行った。暖機後の測定値から次に行う故障探求として、適切なものは次のうちどれか。

正常データ（暖機時の ISCV 制御）

項 目	エンジン ECU データ			
	20℃	40℃	60℃	80℃
水 温	20℃	40℃	60℃	80℃
ISCV デューティ比	74.2%	64.3%	54.2%	39.4%
エンジン回転速度	1244min ⁻¹	1145min ⁻¹	1022min ⁻¹	771min ⁻¹
噴射時間	4.86ms	3.90ms	3.07ms	2.81ms

暖機後の測定値

項 目	エンジン ECU データ
水温	80℃
ISCV デューティ比	0%
エンジン回転速度	1253min ⁻¹
噴射時間	2.90ms
エアコン信号	ON⇔OFF 異常なし

- (1) フューエル・ポンプシステムの点検
- (2) 吸気システムの点検
- (3) 水温センサシステムの点検
- (4) 点火システムの点検